

第三章 豚の選抜

ピッグショーに参加するには目的がなければなりません。ショーに参加する第一の目的はお金儲けのためですか？それともショーでいい順位を取るとか優勝する事ですか？実はショーの後に若雌豚を買って帰り、産ませた子豚の中から来年のショー使う子豚を選んでいる時が、そのショーのゴールなのかもしれません。

選抜時の評価対象となる形質

もしあなたが豚を選んだ経験があまりなかったなら、誰かアドバイスをくれそうな経験豊富な人を探しましょう。ショーに出品する豚は下の図で示したような素晴らしい骨格でなければなりません。専門用語も勉強して後の図で示す特徴を理解しましょう。求められている特徴がわかってきたら、実際にショーのリングでジャッジがいろんな豚をどう評価するか見てみましょう。

図1. 理想的な骨格

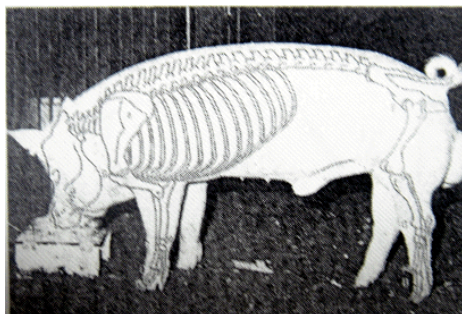


図1と図2の足と肩、腰周りの骨格を比べてください。肘や肩関節、飛節と膝関節の角度に注意してください。

図2. 好ましくない骨格

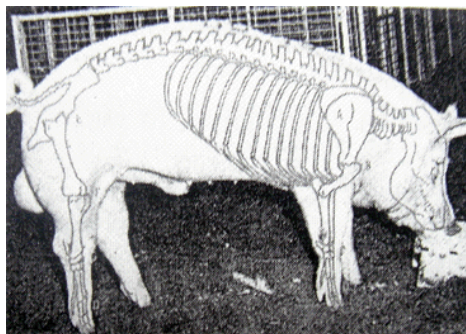
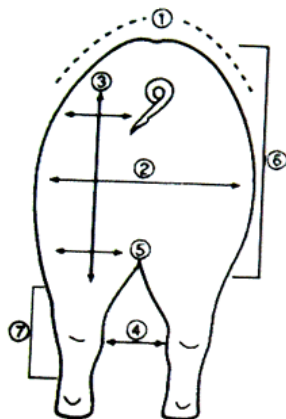


図 2 の豚は前肢と肩、飛節と膝の角度が直線的すぎます。この豚をショーのリングで歩かせるのは難しいでしょう。こういう豚は足が弱くてショーには不向きです。

体型のガイドライン

後ろから見た図



背中カーブの美しさ

腿の中心部の幅

腿全体の筋肉の厚みの美しさ

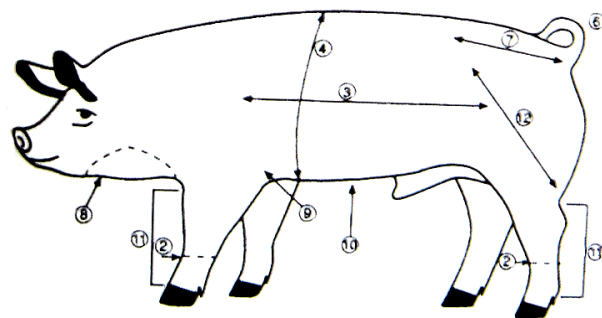
後肢の間の幅

後肢間(尾の周囲)の脂肪の付き具合

筋肉の付き方とバランス

後肢の角度

左横から見た図



全体の大きさやバランス

骨の厚み

胴の長さ

胴の深み

背中平らさ

尾のつき方(背中のラインとの調和)

尻の長さ

顎の下の引き締まり

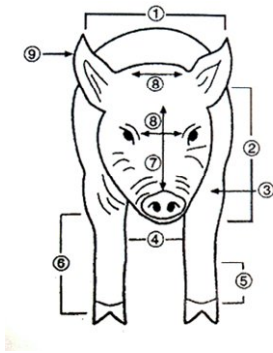
脇の引き締まり

胴の引き締まり

肩から肘、繋までの角度

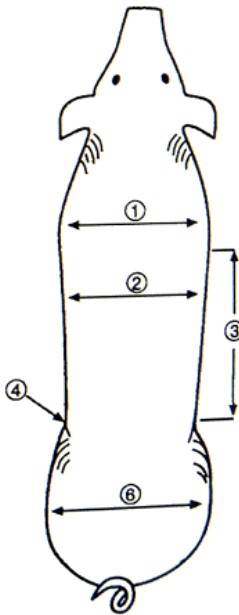
尻から飛節にかけての腿の長さ

前から見た図



背中のラインの美しさ
肩の部分の筋肉の張り具合
顎の下の引き締まり
胸の幅
骨の厚み
前肢から蹄までの正確な骨格
頭の長さ
目と耳の間隔
品種としての特徴（品種分けの場合）

上から見た図



肩の筋肉の厚みと張り
肋の張り（幅）
肥育の度合い（きちんと肥育されているか）
腰角の締め方
背中からの筋肉の付き方と張り
尻の厚み。筋肉が発達している豚は、上から見たときにこの部分が最も太くなる。

（Ohio's Country Journal Black, J. et al., 1995 Club Pig& Lamb Directory より抜粋）

これらの特徴について一度勉強しておけば、これらの意味がこれから少しずつ分かってくるでしょう。豚が若くてエネルギッシュな時期に、本来の能力を発揮させるためには体型が美しく整っていなければなりません。この能力というのは成長や増体の速さという意味だけではなく、例えば若雌豚ならば交配から妊娠、そして分娩する能力も含まれます。肢も成長にしたがって増加する体重をしっかりと支えられるように、肩や膝が適切な角度を保持していなければなりません。経験豊富なアドバイザーに購入予定の豚の健康状態をチェックしてもらいましょう。

購入予定の豚が決まったら、その次にチェックしなければならない事があり

ます。その豚は下痢をしていませんか？もし下痢をしていたなら、この下痢が高い栄養価の餌のせいなのか、それとも病気によるものか判断しなければなりません（第九章参照）。高タンパクの栄養プログラムには、豚が飛び回るほど元気なのに糞がドロドロで下痢便状になるようなものもあります。また、赤痢や寄生虫による下痢を発症しているのかもしれない。これらに感染した豚の糞はスープ状でつやがなく、見た目も健康的ではありません。こういう豚はお腹が膨れ上がっていたり、または見た目がそうならないように数日間絶食させられて凹んでいることもあります。毛艶が悪くてお腹の張りがおかしく、遊んだり靴をかじったりしないような豚は避けましょう。

また、ヘルニアや関節の腫れ、顎の下の膿瘍、去勢の後の陰嚢にしこりがなければ等もチェックしなければなりません。一ヶ所の切開で去勢された豚には注意してください。片側の精巣や組織の取り残しがよくあります。去勢は必ず二ヶ所 切開して行なわなければなりません。最近、オハイオ州の家族でとても悲しい出来事がありました。彼らの出品した豚がある大きな大会でグランドチャンピオンになって高値で取引されましたが、屠場で処理された時に陰嚢の中に精巣の組織が残っていた事が判明して大会の役員から異議の申し立てが起こり、この豚は失格となって賞も没収されました。幸いな事に、豚が若いうちにとことんチェックしておけばこのような災難は防げます。

極端に筋肉質な豚は避けましょう。このような豚は成長が進むと骨格や筋肉が維持できなくなる事が多いです。ショーが近づいたころにはまともに歩けなくなってしまい、ショーでジャッジが「困ったちゃん」と呼ぶのを聞くとと思います。こういう豚は跛行していたり、しゃがんだままだったりします。

豚の品種がピエトレンだとか、豚ストレス症候群（PSS）を遺伝的に持っているような場合は注意しなければなりません。ピエトレンとの交雑種でも PSS の遺伝子を持っている場合があります。この遺伝子を持っている豚はストレスがかかった時に痙攣を起こしやすく、心臓発作の時のようにすぐに死んでしまいます。PSS の遺伝子を持っている豚はショーのリングに押し上げられた時とか、ショーの規定で行なわれる血液の採取の時などに死んでしまいます。全てのピエトレンがこの遺伝子を持っているわけではありません。販売者がその豚の血統に PSS の遺伝子が入っていないという検査結果の証明書を出しているのなら何も問題はありません（第八章参照）。ペイレーン を与えられている豚も時々同じような症状を起こします（第七章参照）。

成長の遅い子豚や同腹の他の子豚と比べて小さい豚も避けるべきです。選ぶ時には一腹の中でも 1 番大きくて腿が太い子豚を選びましょう。その豚の母豚がかつてショーで勝った子豚を産んだ事があるかもチェックしましょう。そういう子豚はかなり高い能力を持っていると思います。

訳注 米国で使われている成長促進剤の一種です。巻末の解説も参照してください。

